

俸米金ノ部

第八十号

租稅寮ヨリ富室製糸場ニ尋生徒弘道輔ナル者
養病休暇中月給渡シ方ノ義ヲ商議ス乃チ歸省
ノ例ニ倣ヒ右月給ハ賜ラヌト回答セリ
三月

第八十壹号

三重縣ヨリ判任官定員月給定額ノ義ニ付件々
寫候乃チ第一条ニ権大属ハ旧ニ権典事同様
中属以下ハ旧大属以下同様ノ割合ヲ以テ定員
トシ之ヲ總計シテ判任官ノ定員トナスヘシ策

二條中屬以下ハ上等ノ月給ヲ以テ平均ニ從前
ノ如ク一員金貳拾五圓ノ割合ニテ計算スヘシ
第三條勅定帳取調方ハ田石高ニ依リ割合方四
貫ニ依リ今般定員ニ編入セシ官員ノ月給ハ別
ニ交付スヘキナリ其他地券取調ニ屬スル費用
等ハ本月廿八日租稅寮ヨリ布達ノ如ク了知ス
ヘシト指令セリ 九月

第八十二号

外務省ヨリ雇入り米人リセニトル月給三ヶ月
分ヲ交付セヨト照管ス乃チ照管ノ趣ニテハ本

年八月十九日ヨリ十一月十八日迄ニテ三ヶ月
分ト調査セシナレト計算上煩雜ニ付八月分ハ
日割ヲ以テ十三日分金四圓拾九圓三拾五錢五
厘トシ九月分金四圓拾九圓三拾五錢五
拾五錢五厘ヲ交付スヘシ且ツ十一月以後ノ分
ハ順次ニ領収ノ券ヲ申達スヘシト回答セリ 十月
十二日

第八十三号

青森縣ヨリ官員任免ノ節月給日割計算ノ義ヲ
稟候ス乃チ其月ノ大小ニ依リ一ヶ月分金額ニ

青森縣

大藏省

比較スレハ過不足アリト雖モ本年第七十五号
公布ノ如ク三十分ノ一ヲ以テ現実端日数ニ乘
シ支給スヘシト指令セリ 十月十日

第八十四号

兵庫縣ヨリ本年八月中判任以下等級改正ニ付
同月分ノ月給ハ従前ノ成規ニ準シ現日数ヲ以
テ下給セシカ尚又第百三十五号詔者布達ノ趣
ニテ府縣判任ノ官制改正アリト虽モ既ニ其以
前月給ヲ下付シ後ニ轉免アリテ現今取立方行
ハレ釋キ分モ之シアリ依テ既往ノ分ハ其終ニ

据置カニテヲ稟請ス乃チ此度限り聴取セリ且
ツ将来月給ノ員額増減ナキ分ハ日割ニ及ハス
ト指令セリ 十月十日

第八十五号

茨城縣ヨリ地券掛官員ヲ定員ニ編入シタルニ
依リ右月給交付ノ義ヲ稟候ニ乃チ詔者第百四
十三号布達ノ如ク必分スヘシト指令セリ 十月十日

第八十六号

外務省ヨリ副島參議外務省事務總裁ヲ命セラ

ル、二ヶ月給交付ノ義ヲ高議ス乃チ正院ヨリ
下付セラルヘシト回答セリ 九月十日

第八十七号

文部省ヨリ正院十等官仕ノ者本月五日同等ニ
テ同省へ轉任ス依テ月給渡シ方ノ義ヲ高議ス
乃チ右條給ハ差引ヲ立テス三十分ノ一ヲ轉任
ノ日ヨリ現日數ニ添ヒ下給シテ然ルヘシト回
答セリ 九月十日

第八十八号

新川縣ヨリ地券取調ノ官員月給渡シ方ノ義ヲ

憲候ス乃チ候スル所ノ趣キニ基キ八月分迄ハ
証印稅收入金ノ内ヲ以テ支給シ九月分ヨリ十
二月分迄ハ別途ニ交付スヘキニ件更ニ領收ノ
義ヲ申達セヨト指令セリ 十月十日

第八十九号

富山縣ヨリ岩納勘定雜形ニ権典事以上兼任ノ
部ニ算入トコレアリ然ルニ今度典事ノ称ヲ廢
セラル、ニ付テハ計算調査ノ方法如何ト憲候
ス乃チ八九等官ノ月給ハ判任ノ部ニ算入シ定
額金ヲ超過セサル様差給スヘシト指令セリ 十月十日

青標天

新編

日二

第九十号

千葉縣ヨリ月給日割計算方ノ案ヲ稟候ス乃チ
三十分ノ一箇ハ毛絲以下ヲ存シ合計ニ至リ重
位ニ止ムヘシト指令セリ
十月廿二日

第九十壹号

若松縣ヨリ使部仕下月給賜方ノ案ヲ稟候ス乃
チ第三百五拾号公布ノ如ク領承スヘシト指令
セリ
十月廿二日

第九十二号

岩手縣ヨリ使部仕下月給旅費支給ノ案ヲ申白
ス然ルニ調査未タ尽サ、ル於テルヲ以テ乃チ
申給ハ公布第三百五拾号ニ準拠シ旅費ハ従前
ノ如ク等級十等ヲ以テ支給スヘシト指令セリ

十月廿二日

第九十三号

石川縣ヨリ府縣判任官以下月給改定ニ付テハ
判任ノ俸給ハ定額ヨリ計算シ使部仕下ハ即令
ノ二等ニ据置キ然ルヘキ歟ト稟候ス乃チ判任
ノ給ハ候ズル如ク使部仕下ノ等級ハ第三

青森

大蔵

省

新設

大

第

百五十九号公布ニ依テ処分スヘシト指令セリ
日廿二

第九十四号

滋賀縣ヨリ官員月給渡シ方ノ案ヲ稟候ス乃チ
候スル処ノ趣意免職ノ者ニ限り三月一日ヨリ
月給三十分ノ一箇ヲ以テ勤務日數ニ乘ズルハ
不毎十リ新任轉免其他トモ總テ第七十五号公
布ノ如ク一般同様ニ支給スヘシ付テハ新任轉
任ノ者支給ノ方法申達ノ趣ハ規則ニ及ビ然ル
可ラサル案迅速改正スヘシト指令セリ
十月廿七日

第九十五号

置賜縣ヨリ因獄取番其他月給渡シ方ヲ稟候ス
乃チ懲役掛番人ノ給料ハ同取諸費ノ内ヨリ下
給ニ追テ力役収入金ヲ以テ差引支給スヘシ其
余ノ件ハ候ズル取ノ如シト指令セリ
十一月

第九十六号

熊谷縣ヨリ新任ノ官員任取ニ赴カスニテ其職
ヲ免ズル時月給渡シ方ヲ稟候ス乃チ持余當日
ヨリ七日間ハ全額八日ヨリ免官ニテハ四分
ノ一成規ニ依テ日割ヲ以テ支給スヘシト指令

青

大

第

大正

七月十二日

第九十七号

東京府ヨリ本年第二百八十七号公布ニ依リ府
縣判任以下月給表ノ通り改定譯官モ同様改定
致スヘキ者布達ニ付二等譯官ニ各四等譯官
各トモ總テ上等ヲ余ニタル趣ヲ報知セリ
十一月十三日

第九十八号

熊谷権大内史ヨリ北海道札幌樺太等ノ官
員月給増額ノ魚議ヲ回送スヘシト照管ス乃

子騰軍費通ヲ由札ニ付テ之ヲ贈レリ
十一月十八日

第九十九号

陸軍省ヨリ官員免職後ノ奉職中於務ノ事件
ヲ整頓スル迄迄頭スルノ類俸給賜リ方ノ義ヲ
再應商議ス乃今以件ハ正院へ上申中申レハ追
テ決裁ヲ得テ指令スヘシト報答セリ
十一月十七日

第一百号

左院ヨリ百日以上養病ノ官員自宅ニ於テ公務
ヲ整理スル時月給賜リ方ノ義ヲ商議ス乃今再
應調査スト雖モ此ノ如キノ類例ナシ若シ搜索

大正

大正

心得一速ニ報知スヘシト回答セリ 十一月廿五日

第百壹号

正院六等岁仕井上廉ヨリ外務省去ル十月申勘
定仕上及ヒ公使領事書記等月給渡方ノ義ニ付
関係ノ書類ヲ回送セヨト来帖ス乃チ別紙ニ之
ヲ録シ且ツ右月給渡ニ付ニ付テハ本年一月中
稟伺ヲ経タシセ計算上不都合アリテ尚又上申
セシニ未夕何等ノ示命ヲ得ス依テ当令先ツ往
キノ稟問ニ基キテ也分スト回答セリ 十一月廿七日

第百二号

司法省ヨリ官員父母ノ病ニ依テ帰省スル者其
父母死スル時ハ本人其凶音ヲ聞クノ日ヨリ月
給金額ヲ給ニテ可ナニ取ト高議ス乃チ其ノ件
ハ正院一稟候中ニ付追テ何分ノ義ヲ報知スヘ
シト由答セリ 十一月廿八日

第百三号

滋賀縣ヨリ月給渡ニ方ノ義ニ付稟候ス乃チ十
一等ノ者大ノ月二日ニ拜命スレハ本官ノ給俸
三十二分割ニ現日数二日ヨリ三十一日迄三十
日分ヲ給シ小ノ月二日ニ拜命スレハ同一ノ割



合ヲ以テ日敷廿九日分ヲ支給スル義ニテ月ノ
大小ニハ関係セズト指令セリ十二月
二十日

第百四号

本省用度課ヨリ尙十二月分月給渡シ方ノ義ハ
出納期限モエシアルニ付来ル十八日繰上ケ交
付セニ致ト高議ス乃チ当寮ニ於テ差支ナシト

回答セリ十二月
九日

第百五号

正院六等^士井上寮ヨリ監吏等級月給及ニ等
外ニ附属ノ者分限ノ義ヲ高議ス乃チ監吏ニ備

勤士官ニ付等級ノ比較ナシ月給一金廿三圓以

下差等アリ等外附属ハ日雇小使ノ如キニ非ス

且ツ等外吏ト均ニク過スル者ニアリスト回答

セリ十二月
十日

第百六号

各東縣ヨリ長官轉免ノ節月給交付ノ義ヲ稟候
ス乃チ本年第四百六号公布ノ如ク領承スヘシ

ト指令セリ十二月
十日

第百七号

司法省ヨリ官員免職ノ際日官事務調査ノ為メ

滞在于余スル時ハ迄テ歸縣ヲ許ス迄月給渡シ
方如何処分ニ然ルハキ軟ト高議ス乃チ本年第
四百一号公布ニ準シ支給スヘシト回答セリ
二十

廿四日

第百八号

三重縣ヨリ免職後公用ニ依テ滞在スル時ノ月
給渡シ方ヲ熏候ス乃チ本年第四百一号公布ノ
如ク処分スヘシト指令セリ
十二日
十四日

第百九号

神奈川縣ヨリ管下相模國寒川社称宜富田光美

ナル者奈良縣管下春日神社権称宜ヨリ轉任シ
タルニ年月給渡費渡シ方ノ義ヲ熏候ス乃チ月
給ニ徵書拜受ノ日ヨリ其縣ニ於テ下給ニ旅費
ハ大教院ヨリ支給スヘシト指令セリ
十二日
十七日

第百十号

島根縣ヨリ官員他管ニ轉任スル時月給交付ノ
義ヲ熏候ス乃チ乙縣ニ到着ノ日ヨリ拜任前日
迄ハ甲縣ニテ之ヲ給シ右日限ハ本人申請ニ任
セ追テ過不足清算スヘシト指令セリ
十二日
十八日

第百十一号

青果天

大藏省

警保寮ヨリ本省ノ官員同寮ニ同等轉任ニ付月
給交付ノ義ヲ高議ス乃チ未議ノ如ク日割ヲ以
テ支給シ然ルヘシト由報セリ 十二月
十七日

第百十二号

長野縣ヨリ他管廳ニ轉任ノ官員月給賜リ方ヲ
稟候ス乃チ乙縣ニ到着ノ上拜任前日迄ハ甲廳
ニ於テ交付スヘシト指令セリ 十二月
七日

第百十三号

奈良縣ヨリ拜任ノ官員公事ニ依リ至急任於ニ
赴キ難キ時ハ月給渡シ方如何ト稟候ス乃チ公

務ヲ以テ滞点スルノ類ハ七日以外ト云ヘ凡月
給金額日割ヲ以テ交付スヘシト指令セリ 十二月
十一日

第百十四号

愛知縣ヨリ官員免職後旧官事務ヲ調査スル為
メ滞留スルノ日給及ヒ他管籍又ハ本管五里内
ノ地ニ寄留或ハ滞留スル者ヲ登庸ノ月給渡シ
方ヲ稟候ス乃チ第一条ハ本年第四百一号ノ公
布ニ依ルヘシニ条ハ自他管籍ヲ論セズ本廳五
里以内ニ寄留滞留スル者ハ登庸ノ節旅費着後



新川縣

ノ日當トモ賜ラスト指令セリ 十二月十九日

第百五十五号

新川縣ヨリ歸省中父母病死ニ郷里ニ於テ喪ニ
服スルノ官員月給賜リ方ヲ熏候ス乃子其日ヨ
リ忌服中ノ時日一月給金額ヲ賜ルヘシト指令
セリ 十二月十九日

第百五十六号

本縣ヨリ蚕種大惣代月給旅費本年第廿三号布
産ノ如ク租稅寮ニテ支給スヘキノ処今度本資
金悉ク支納寮一送付セ使メ当中金額ニテ支納

スヘシト設者ノ布産ニ付テハ右月給旅費渡シ
方ハ府縣ヨリ申請ノ度毎ニ租稅寮ニ於テ議案
ヲ起シ支納寮直渡ノ一ニ処分スル欵如何ト租
稅寮一詢問セリ 十二月廿三日
第百五十七号

司法省ヨリ壬申第貳百十一号公布拜任ノ者七
日内ニ赴任セサレ時ノ月給賜リ方規則ハ警一
ハ本人病アリテ上程ニ難キノ類ハ如何セント
商議ス乃子病氣ニテ七日間ニ赴任セサレハ事
故ト看做シ八日月ヨリ月給四分ノ一ヲ給スヘ

青標状

大蔵省

第百十号

トト由答セリ 十二月廿三日

第百十号

司法省ヨリ裁判所_{在務}ノ者_{歸者}ヲ願ヒ九月廿六日發足シ翌廿七日着京ス然ルニ廿四日既ニ其親没シタリ付テ一月給渡_{之方}ハ彼地發足途_中ノ分_ヲ三歸者_ノ廉_ヲ以テ其額減シ着京以後ハ總テ全額ヲ給セシ歟ト商議ス乃チ未議ノ如クニテ然ルヘシト由答セリ 十二月廿七日

第百十九号

茨城縣ヨリ官員_{在職}ノ地ニ於テ父母_ノ喪ニ丁

リ_差參_ノ為_メ歸者_ニテ更ニ事故_{アリ}滞留_{スル}時_ハ月給渡_{之方}如何ト稟問ス乃チ右表_期内_ハ月給全額ヲ賜ルヘシ況ヤ歸者_中更ニ親族_{死亡}ニテ喪ニ服スルハ是亦々全額ヲ給スヘシト指令セリ 十二月廿八日

第百十号

第百十九号